

米規制委が2件目のCOL発給

米原子力規制委員会(NRC)の委員五名は三月三十日、サウスカロライナ州のバージルCサマー原子力発電所2、3号機(各PWR、百十kW)建設計画への建設・運転一括認可(COL)発給を四対二で承認した。二月にボーグル3、4号機建設計画に対して初めてCOLを発給したのにも関わらず、NRCはサマー建設計画の安全性と環境影響に関するNRCスタッフの審査結果を適切と判断。COLは同日、申請会社であるサウスカロライナ・エレクトリック&ガス(SEC&G)社および地元・州営電力会社のサンティ・クーパー社に発給されており、二〇一六年と二七年の両炉の完成を目標に、本格的な建設工事が開始されることになった。

票決ではボーグル計画の採用が直ちに義務付けられるべきだと主張。委員長ただ一人が、福島後のさらなる安全対策実施を命じる要件が必要だとして反対票を投じた。同委員長は「新たな原子炉建設では福島事故の教訓で見直された新しい要件の採用が直ちに義務付けられるべきだ」と主張。委員長ただ一人が、福島後のさらなる安全対策実施を命じる要件が必要だとして反対票を投じた。同委員長は「新たな原子炉建設では福島事故の教訓で見直された新しい要件の採用が直ちに義務付けられるべきだ」と主張。

福島事故後の状況説明

核燃料ネットワークが仏国で総会

三月二十六日と二十七日、世界核燃料安全ネットワーク(INSAF)の会員がフランス・リヨンのマキユリグランドホテルに集まり、第十一回総会を開催した。世界九か国十二企業から約四十名が出席し、まず仏アレバ社のエリック・プラン副社長と三菱原子燃料株式会社の小野幸雄副社長を共同議長に選出。開会挨拶はプラン副社長と、日本を代表して原子燃料工業株式会社岩田社長が行った。INSAFはJCO事故を契機に二〇〇四年四月に東京で設立された核燃料事業者の安全ネットワークだが、今般再び福島事故を契機として、日本の地震の被害の状況と教訓、ストレステストの準備状況について冒頭日本から説明した。続いて、各国から福島事故の影響について報告があり、同事故以降の世界の核燃料事業者における安全に関するストレステスト等の実施状況の報告や防災に関する意見交換が行われた。この中で、フランスにおいては、ウ



第11回INSAF総会の出席者達(=最前列・左から2人目が三菱原子燃料の小野副社長)

ラン加工施設、MOX加工施設等のサイクル施設全般に対して、鋭意評価を進めているとの報告があった。初日の最後には、フランス原子力安全規制当局のジャン・リュック・ラシヨム事務局長から同国の規制の考え方について講演があった。翌二十七日には、参加者が①小事故報告②危機管理③放射性影響と化学物質の影響④防災計画⑤の四分野について分かれて意見交換を行い、各国の認識を再確認した。INSAFは毎年世界各地で総会を開き、安全についての情報交換を促進し、安全の重要性に関

験を義務付けるV・Cサマー2、3号機の完成予想図

②電源喪失を引き起こす深刻な自然災害への対応戦略を策定する一である。NRCはまた、使用済み燃料プールの信頼性の高い計測器の設置を義務付ける指令と、緊急時の従業員配置に関する情報の提供をSEC&G社らに同時にSEC&G社らに伝えるよう同委の「新原子炉局」に指示した。SEC&G社とサンティ社は二〇〇八年三月、サマー原発サイトにウエスチングハウス(WH)社製AP1000二基の建設を想定したCOLをNRCに提出。同委の原子炉安全諮問委員会(ACRS)は独立の立場で同計画の安全性と最終安全評価報告書(FSER)を審査し、昨年二月に結果をNRCに提出した。NRCはまた、昨年四月に環境影響に関する審査を終えて環境影響報告書(EIS)の最終版を発行。その二日後にはFSERを発行していた。

英国で原子力発電所の新設計画を共同で計画していたドイツのRWE社およびE.ON社は三月二十九日、同計画から撤退すると発表し、福島事故後、ドイツ政府が決定した脱原子力政策により、両社の保有する原子炉が閉鎖に追い込まれるなど財政的に大きな損失を被ったのが主な理由だと説明。両社が共同画のために共同出資していたホライズン社については今後、新たな所有者を募集し、株式を売却する方針だ。

この決定について英国政府が決定した脱原子力政策により、両社の保有する原子炉が閉鎖に追い込まれるなど財政的に大きな損失を被ったのが主な理由だと説明。両社が共同画のために共同出資していたホライズン社については今後、新たな所有者を募集し、株式を売却する方針だ。

政府の融資保証適用を認めた建設計画はボーグルF SERについては現在、ACRSが審査を進めている一方、EISに關してはまだ案文へのコメント募集段階であるため、年内のCOL発給は不透明な状況である。また、これまでに米エネルギー省(DOE)が

計画のCOLを審査中。F SERについては現在、ACRSが審査を進めている一方、EISに關してはまだ案文へのコメント募集段階であるため、年内のCOL発給は不透明な状況である。また、これまでに米エネルギー省(DOE)が

政府の融資保証適用を認めた建設計画はボーグルF SERについては現在、ACRSが審査を進めている一方、EISに關してはまだ案文へのコメント募集段階であるため、年内のCOL発給は不透明な状況である。また、これまでに米エネルギー省(DOE)が

英国の新設計画から撤退

独RWE社とE.ON社

中国核工業集団公司(CNNC)は三月二十七日、浙江省で建設中の三門一号機(PWR、百二十五kW)で外部電源からの受電テストに成功したと発表した。世界初のウエスチングハウス(WH)社製AP1000(O)となる同炉の建設工事は来年の送電開始を目指して着実に進展している。

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル

エネルギー気候変動省のC・ヘンドリー閣外相は「非常に残念だが、英国の原子力新設計画では依然として複数の企業連合が計画を継続中だ」とコメント。ドイツ企業の撤退は英国の新設計画に対する疑念が原因ではない点を強調している。RWE社とE.ON社は五〇対五〇の出資比率

で二〇〇九年にホライズン・ニューヨークリア社を設立。ドイツ国内での新規建設が見込めないことから、英国グループ・スティーヴン・ブレイク社をパートナーとして、北ウェルズのウィルファア原子力発電所の隣接区域を昨年十月末までに用地として確保し、二〇一五年までに約六百万kWの原子力発電設備建設を計画していた。

しかし、福島事故にともないドイツのメルケル政権は二〇一二年までに国内の十七基を段階的に閉鎖する判断を下し、当該社のブルース・パワー(BP)社では、同発電所の四基が揃って運転再開できる日も近いとしており、二〇〇六年から大がかりな改修工事が行われていたカナダのブルースA原子力発電所で二号機(CANDU、八十五万kW)が三月二十日に約二十年ぶりに再起動を果たした。同炉と同じく改修中だった一号機(CANDU、八十五万kW)も昨年末に燃料を再装荷したことから、運転

三門一で受電テストが成功

中国

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル



WH社CEOに志賀氏

J・フレイザード氏が、十九日付でババコック&ウィルコックス社の社長兼CEOに就任することになったため、同氏の辞職願いを受理した。これに伴い、志賀重範副会長(写真)が当面の間、同社の社長を兼務。同社は今後、後任の人選を急ぐ。

時停止中だった古い原子炉八基については直ちに閉鎖を決定した。欧州原子力産業会議連合(FO RATOM)によると、ウンター・ペーサーおよびイザール原発の閉鎖に伴うE.ON社の損失は十五億ユーロに達しており、核燃料税および廃止措置の加速経費を含めると同社が脱原子力政策により被った財政的な影響は過去十二か月で二十五億ユーロにのぼる。また、ピリス発電所の二基の閉鎖と核燃料税により、RWE社は約十億ユーロにのぼる。

今回、二号機についてはカナダ原子力安全委員会は(CNSC)が三月十六日に「停止保証状態」からの復帰を許可。原子炉の臨界防止のために取られていた複数の措置が解除され、さああたり五〇%まで出力を上げることがになっていた。しかし、翌十七日の午

ブルースA2号機が再起動

カナダ

二〇〇六年から大がかりな改修工事が行われていたカナダのブルースA原子力発電所で二号機(CANDU、八十五万kW)が三月二十日に約二十年ぶりに再起動を果たした。同炉と同じく改修中だった一号機(CANDU、八十五万kW)も昨年末に燃料を再装荷したことから、運転

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル

今回の試験は三月二十三日の午前十一時、同炉と発電所近隣の変電所を接続して完了。二百二十kVの中電圧開閉器から

信頼性の高い安定した電力が無事供給されたことから、CNNCでは原子炉の起動も強力に保証できると強調した。なお、WH社は三月十九日に同炉向けの燃料集合体・全百五十七体および関係機器の製造が完了したと発表した。燃料は米サウスカロライナ州の「コロンビア燃料加工施設」で製造したもので、WH社はAP1000用燃料集合体を製造するため、二〇〇六年から千六百万円をかけて同施設の改修プログラムを実施。後続のAP1000となる三門二号機や山東省の海陽一、二号機、米国で今後新設されるボーグル